

1 機能と沿革

(1) 機能

福島県農業総合センターは、農業関係の試験研究機関、病虫害防除所、肥飼料検査所及び農業短期大学校を再編統合し、5つの機能(ア 技術開発・企画調整機能、イ 地域農業支援機能、ウ 先進的農業者育成・支援機能、エ 食の安全・環境と共生する農業支援機能、オ 県民との交流・情報発信機能)を兼ね備えた本県農業振興の新たな拠点として平成18年4月郡山市日和田町に開所した。

ア 技術開発・企画調整機能

共通研究部門(経営・作業技術・生物工学・生産環境)、専門研究部門(水田畑作・園芸・果樹・畜産)、地域研究部門(会津・浜)が緊密に連携し、統合集中化のメリットを最大限に発揮することにより、実用性の高い技術の迅速かつ効率的な開発に取り組む。

イ 地域農業支援機能

地域農業を支援するため、既存の技術のみでは解決が困難な地域の課題に対し、現地の普及指導員、農業者、農業団体及び市町村等と共同して解決に当たる。

ウ 先進的農業者育成・支援機能

先進的な技術や最新の知見を営農条件に合った形に組み立て、実用的な新技術として生産現場に適応させることにより、複雑化・高度化する生産現場の課題解決の迅速化を図る。

農業教育面では、農業短期大学校と研究部門が一体的に地域を先導する農業後継者の育成に当たる。

エ 食の安全・環境と共生する農業支援機能

農業の振興には、環境に配慮し、消費者のニーズを重視して農産物を生産していくことが重要であるため、農業生産面からの環境保全や農薬等生産資材の適正使用の推進、農産物の安全性の確保に積極的に取り組む。また、県内における有機農業の普及拡大を強力に支援する。

オ 県民との交流・情報発信機能

センター整備の基本理念の一つである「開かれた試験研究機関」を具現化し、県民の様々な期待に応えられる交流・学習拠点としての役割を果たすため、県民の憩いの場、子供たちの農業体験や食農教育、高齢者の生涯学習等の機会を提供する。

(2) 沿革

年 度		事 項
和 暦	西 暦	
明治 29 年	1896 年	安積郡小原田村(現 郡山市小原田)に農事試験場(後の農業試験場)を設置
34 年	1901 年	福島町(現 福島市)に肥料検査室(後の肥飼料検査所)を設置
35 年	1902 年	安達郡高川村(現 郡山市熱海町)に種馬飼育場(後の畜産試験場)を設置
43 年	1910 年	郡山町虎丸町(現 郡山市虎丸)に移転
大正 3 年	1914 年	伊達郡梁川町(現伊達市)に原蚕種製造所(後の蚕業試験場)を設置
7 年	1918 年	河沼郡若宮村(現 河沼郡会津坂下町)に農事試験場特別試験地(後の農業試験場会津支場) を設置
12 年	1923 年	石城郡神谷村(現いわき市)に石城分場(後の農業試験場いわき支場) を設置
14 年	1925 年	田村郡片曾根村(現田村市)にたばこ試験場を設置
昭和 10 年	1935 年	信夫郡平野村(現 福島市飯坂町)に農事試験場信達分場(後の果樹試験場)を設置 西白河郡矢吹町に県立修練農場(後の農業短期大学校)を設置 ※改称、統廃合により昭和 63 年(1988 年)現在名称
		相馬郡八幡村(現 相馬市成田)に農事試験場相馬水稻試験地(後の農業試験場相馬支場)を設置
		耶麻郡猪苗代町(現 猪苗代町)に猪苗代試験地(後の農業試験場冷害試験地)を設置
11 年	1936 年	郡山市に種鶏場(後の養鶏試験場)を設置 ※昭和 40 年(1965 年)改称、郡山市富田町に移転
17 年	1942 年	種馬飼育場を信夫郡荒井村(現 福島市)に移転(後の畜産試験場)
23 年	1948 年	安積郡富田村(現 郡山市富田町)に農事試験場を移転※昭和 36 年(1961 年)改称
27 年	1952 年	県内 16 か所に病虫害防除所を設置
33 年	1958 年	県特用作物原種農場をこんにゃく試験地として改称移管
42 年	1967 年	県農業短期大学校を設立

年 度		事 項
和暦	西暦	
49 年	1974 年	会津農業センターの設立 会津支場を会津農業センター庁舎に移転 農業経営大学校を設置
54 年	1979 年	
55 年	1980 年	
63 年	1988 年	園芸試験場を果樹試験場に改組 農業短期大学校、農業経営大学校及び会津農業センター(長期研修課程)を統合し、県立農業短期大学校を開校(矢吹町)
平成 8 年	1996 年	農業試験場創設 100 周年
14 年	2002 年	梁川支場を開場し、蚕業試験場を廃止 農業総合センター発足 試験研究機関(農業試験場(本場・4 支場・2 試験地)、果樹試験場、たばこ試験場、畜産試験場(本場・1 支場)、養鶏試験場)、農業短期大学校、病虫害防除所、肥飼料検査所を再編統合 梁川支場を廃止
18 年	2006 年	
23 年	2011 年	センター本部安全農業推進部に分析課を設置
25 年	2013 年	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター福島研究拠点内(福島市)に福島市駐在を設置
27 年	2015 年	福島市駐在を廃止し、南相馬市に浜地域農業再生研究センターを設置 畜産研究所養鶏分場(郡山市)を廃止
28 年	2016 年	畜産研究所(福島市)に養鶏科を設置
29 年	2017 年	農業短期大学校を農業経営部 5 学科に再編し、研究科を廃止
令和 6 年	2024 年	農業短期大学校に学生寮、一般宿泊棟、屋外作業準備棟及びアグリ探求棟を新設。
7 年	2025 年	農業短期大学校の食堂を改修、スマート農業トレーニングフィールドを新設。

2 所在地

- (1) 福島県農業総合センター 本部
〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道^{しもなかみち}116 番地
TEL 024-958-1700 FAX 024-958-1726
- (2) 果樹研究所
〒960-0231 福島市飯坂町平野字檀^{だん}の東^{ひがし} 1 番地
TEL 024-542-4191 FAX 024-542-4749
- (3) 畜産研究所
〒960-2156 福島市荒井字地藏原甲 18 番地
TEL 024-593-1096 FAX 024-593-4977
- (4) 畜産研究所 沼尻分場
〒969-2752 耶麻郡猪苗代町大字蚕養^{こがい}字日影^{ひかげ}山乙 3696 番地
TEL 0242-64-3321 FAX 0242-64-2844
- (5) 会津地域研究所
〒969-6506 河沼郡会津坂下町大字見明^{みみょう}字南原 881 番地
TEL 0242-82-4411 FAX 0242-82-4416
- (6) 浜地域研究所
〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋 100 番地
TEL 0244-35-2633 FAX 0244-35-0319
- (7) 浜地域農業再生研究センター
〒975-0036 南相馬市原町区萱浜^{かいばま}字巢掛^{すかけば}場45 番 169
TEL 0244-26-9562 FAX 0244-26-9563
- (8) 農業短期大学校
〒969-0292 西白河郡矢吹^{いっばんぎ}町一本木446 番地 1
TEL 0248-42-4111 FAX 0248-44-4553

3 組織及び事務の概要

